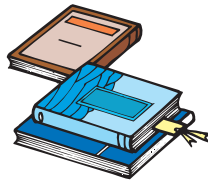


ほんの森

図書館 ☎ 84-3311



図書館休館日
3月6日(火)
毎週月曜日

映画会

『チャーリーとチョコレート工場』

日時 3月18日(日)
午前10時・午後2時
上映時間 1時間55分
場所 2階ハイビジョンホール
定員 各回120名
入場券 整理券(無料)を3月3日(土)から配布します。ご希望の方は図書館カウンターまでお越しください。



金曜映画会

『おじいちゃん元気になってね』

日時 3月23日(金) 午後2時から
上映時間 47分
場所 2階ハイビジョンホール
定員 先着100名 ※整理券は不要です

返し忘れていた本はありませんか？

図書館から借りて返し忘れていた本がありましたら、お早めにお返しください。
また、自宅で不要になった本は寄贈も受け付けていますので、図書館へご相談ください。

文芸

◆俳句

紅白の蕾ふふみし梅の園

浅野 茂子

風に身を委ねつ聴くや春の音

池田 逸子

芸人も力士も豆打つ成田山

伊藤 敬子

真夜中や静寂劈く猫の恋

今関満喜子

暖冬や遅咲き早咲き狂い咲き

魚地 照子

木枯や何処を巡りて街に來し

江森 悦子

声立てて嬰兒笑えぬ春立つ日

大谷 武彦

寺年酒話し浄土に行き來する

川島 孝夫

立春や木下濡らさぬほどの雨

川島 通則

暖冬や早き春來る昨日今日

桑名 大行

友よりの句繻く小正月

向後 寛

鬼やらい追いつ追われつ年子の児

越川せつ子

戦中派目刺し二匹の松納め

佐瀬 輝夫

風のままだ矢さえぎりて冬の雲
泣きづかれてして道ならぬ猫の恋

宍倉 道子

声からし泥まみれなる猫の恋

戸村 静華

三日月のむら雲の影春早し

福田 幸子

しばれるや言葉みじかき津輕人

布施 和代

音だけの朝の花火や一の午

丸山 照美

ふところの子猫ぬくもり捨てにゆく

山口 一秋

大寒や風の渚の九十九里

渡部 和秋

◆短歌

冬枯れの木の間に赫赫落暉燃ゆ
生あるものの命ささえて

安田 和子

鎮魂の辞忠魂碑前で朗読し
が誠捧げたるなり

鈴木 益郎

作りつつ磨く勾玉艶のでて
歎声あがる彼方こちらに

池田 春江

町村の合併によりわが歌を
広報に読みしと友の賀状は

西山満里子

寡男なるわれの仕草のぎこちなく
新年の雑煮つくりあるなり

永藤 滋

両側に孫の座りて小籠包
食みてゐるなり一家五人で

鈴木まさ子

半日を我が家で過せし弟は
戸締り注意と言ひて帰りぬ

田崎 尚美

成田山へ初詣すと人力車に
乗る人ありて視線あつむる

平山 芳子

つぎ次に懐かしき地名きながら
循環バス行く故里の道

吉岡 信子

嬰兒を夫は背にして笑みたり
ガラス戸に映る己の姿に

押尾 輝子

冬枯れの野辺に残れる猫じやらし
風の行方のままに揺れるつ

八角 三枝

枯れ草を焼きる野辺の近からし
煙と雲と一体となる

芹川 初子

暮れてなほ温み残れる庭石に
腰かけ仰ぐ寒の夕焼け

佐瀬 初音

快速の電車の窓に写りある
家家の灯影に心和みく

長谷川正子

敷石の廻りに生ふる雑草を
人間のエゴと詫びつつ抜けり

上総 晴子

枯芝を金に染めつつ大寒の
朝日子のぼる総の丘より

斎藤つね子